## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年2月1日

事業所名 あゆっこ江津 保護者等数(児童数):15名 回収数:15名 割合 100%

1 2/07/1		チェック項目	はい	どちらとも い えない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境·体制整備	(   )	子どもの個人プログラムを行うスペースが十分に 確保されているか	15	0	0		活動をするスペースはいつで も見ていただけますので、ス タッフに声をお掛けください。
	2	職員の配置数は適切であるか	14	ı	0		事業の内容や定員に対する 職員配置は、適切な人数配 置になっています。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切 になされているか	15	0	0		当センターは年齢層や身体の状態の様々な方が利用されるため、誰でも利用しやすいような環境作りに配慮しています。
適切な支援の提供	_	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析 された上で、放課後等デイサービス計画が作成さ れているか		0	0		あゆっこでの活動の様子や 家庭・学校での様子を踏まえ た上で、子どもさんやご家族 の希望に沿った計画書にな るように努めていきます。
	\$	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	15	0	0		計画書に沿った支援をしながら、一人一人の力が伸びるように努めていきます。
	6	個人プログラムの内容が子どもの状態に合わせ て工夫、変更されているか	15	0	0		対 で関わるため、子どもさんの状態に合わせた活動がしやすい環境になっています。
保護者への説明等	7	契約内容や支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明がなされたか	15	0	0		今後も丁寧で分かりやすい 説明ができるよう努めていき ます。分かりにくい点がありま したら、お声掛けください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解ができ ているか		0	0		毎回活動の内容や対応方法 などについてお伝えをしてい ます。今後も家庭や保育園等 での様子を遠慮なくお話くだ さい。
	9	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する 助言等の支援が行われているか	14	I	0		モニタリングや計画書の説明 をさせていただく際に、いろい ろとお話を聞かせていただい ています。子どもさんの日頃 の様子など、遠慮なくお話く ださい。
	0	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか		0	0	の要望などに柔軟に対応し	今年度も、苦情を寄せられることがなかったため、周知、説明をする機会がありませんでしたが、ご意見等がありましたら、遠慮なくお話ください、また、意見箱もありますので、ご利用ください。

保護者への説明等	(1)	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0		ご家族との情報伝達につい ては、口頭だけではなく、書面 やLINE等を使用しています。
	(2)	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行 事予定等の情報、事業所の自己評価の結果を保 護者に対して発信しているか	12	3	0		あゆっこ江津独自の会報やホームページはありませんが、当センターの機関誌やホームページ、フェイスブックがあり、センター内の活動や行事をお知らせしています。LINEや掲示板への掲示を通して、情報発信をしていきます。
	(3)	個人情報の取扱に十分注意されているか	15	0	0		名前が記載してある書類を お渡しする際は、書類を準備 する時とお渡しする時の2回、 フルネームを確認します。ま た、ご家族とお話をする際は、 場所や声の大きさ、個人名を 出さないことに配慮します。
非常時の対応	(4)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアルを策定し、保護者に周知説明され ているか		4	0		マニュアルは重要事項説明 書に記載してあり、丁寧な説 明に努めていきます。
	(5)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、そ の他必要な訓練が行われているか	14	1	0		重要事項説明書で説明させ ていただいた通り、当セン ターでは定期的に非常時に 備えた訓練を行なっていま す。
満足度	(6)	子どもは通所を楽しみにしているか	14	ı	0	す。	楽しみに来園していただきあ りがとうございます。今後も、 活動内容を工夫し、楽しみに 来園してもらえるように努め ていきます。
	0	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	・いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。 ・子どもに合った支援をしていただき、感謝しています。 ・運動は苦手意識が強い。 OTに行くほどでもないが。腹筋、縄跳び、鉄棒、跳び箱など、少しでも取り組んで、体育の授業に不安なく取り組めることができれば、うれしいです。支援級ではする様子がないので…。	具を使った活動はできませんが、限られた活動スペースの中でできること (微細運動、ビジョントレーニングなど)に取り組んでいます。また、興味のあることから自信を広げ、様々なことにチャレンジできる